

D I AMジャパン・セレクション<DC年金>

追加型投信／国内／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年9月18日～2026年3月17日

| | | |
|-----------------------|----------------|----------|
| 第49期 | 決算日：2026年3月17日 | |
| 第49期末 (2026年3月17日) | 基準価額 | 68,012円 |
| | 純資産総額 | 6,033百万円 |
| 第49期 | 騰落率 | 21.8% |
| | 分配金合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

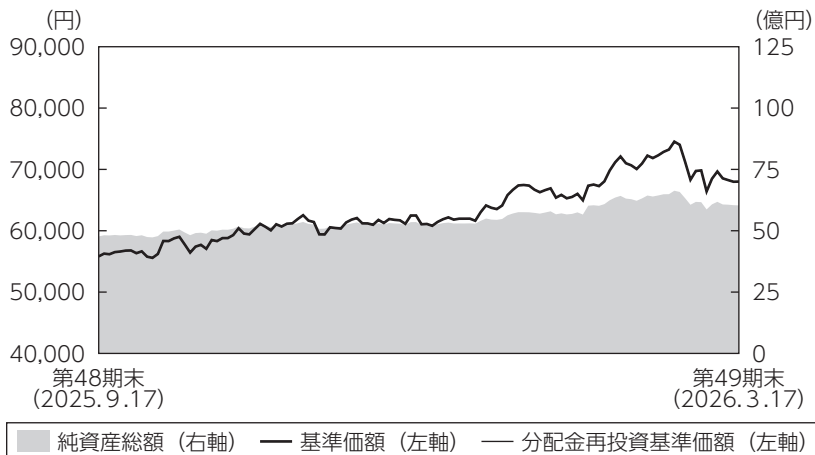
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第49期首： 55,821円
 第49期末： 68,012円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 21.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

国内企業による堅調な企業決算と高水準の自社株買いに加え、高市新政権の発足や衆議院選挙で自民党が単独過半数を確保したことを受け経済政策に対する期待が高まり国内株式市場が大きく上昇したこと、保有するキオクシアホールディングス、レゾナック・ホールディングス等の株価上昇がプラスに寄与したことなどから基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第49期 | | 項目の概要 |
|---------------------|-----------------------------|------------------|--|
| | (2025年9月18日 ～2026年3月17日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 553円 | 0.873% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は63,316円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (投信会社) | (207) | (0.327) | |
| (販売会社) | (311) | (0.491) | |
| (受託会社) | (35) | (0.055) | |
| (b) 売買委託手数料 | 19 | 0.029 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | (19) | (0.029) | |
| (c) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 572 | 0.903 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

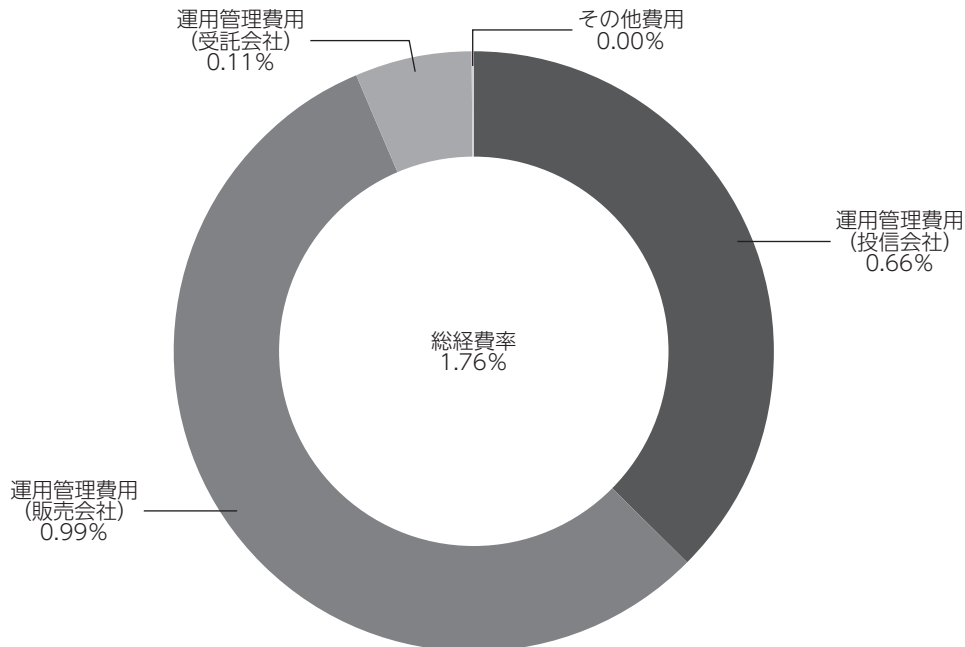
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年3月17日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2021年3月17日 期首 | 2022年3月17日 決算日 | 2023年3月17日 決算日 | 2024年3月18日 決算日 | 2025年3月17日 決算日 | 2026年3月17日 決算日 |
|----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) 28,078 | 27,222 | 27,850 | 42,594 | 46,273 | 68,012 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) — | △3.0 | 2.3 | 52.9 | 8.6 | 47.0 |
| 参考指数の騰落率 | (%) — | △2.2 | 6.0 | 42.4 | 3.3 | 35.3 |
| 純資産総額 | (百万円) 3,371 | 3,134 | 3,043 | 4,728 | 4,151 | 6,033 |

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

投資環境

国内株式市場は上昇しました。国内企業による堅調な決算発表や高水準の自社株買いに加え、生成AI関連投資の拡大を受けた海外ハイテク企業の株価上昇、高市新政権の経済政策に対する期待などが追い風となり、国内株式市場は史上最高値を更新しながら上値を試す展開となりました。一方、期末にかけては中東情勢の悪化が嫌気され上昇幅を縮小させました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

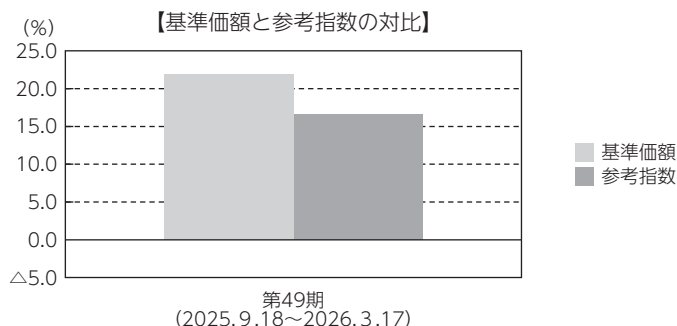
当ファンドの主要投資対象はジャパン・セレクション・マザーファンドであり、マザーファンドの組入比率は期を通じて高位に維持するよう運用しました。

●ジャパン・セレクション・マザーファンド

個別銘柄では、株価が上昇し割安感が後退したフジクラ、生成AI普及によりバリュエーション低下の懸念がある日本電気や富士通などのウェイトを引き下げた一方で、構造的な需給ひっ迫を受けた業績拡大が見込まれるキオクシアホールディングスや事業環境好転の確度が高まったとみた東京エレクトロンの新規組入れなどを行いました。業種別では、その他製品、不動産業などのウェイトを引き上げた一方、保険業、機械などのウェイトを引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万円当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|---------------------------|
| | 2025年9月18日 ～2026年3月17日 |
| 当期分配金（税引前） | －円 |
| 対基準価額比率 | －％ |
| 当期の収益 | －円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 59,921円 |

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続きジャパン・セレクション・マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

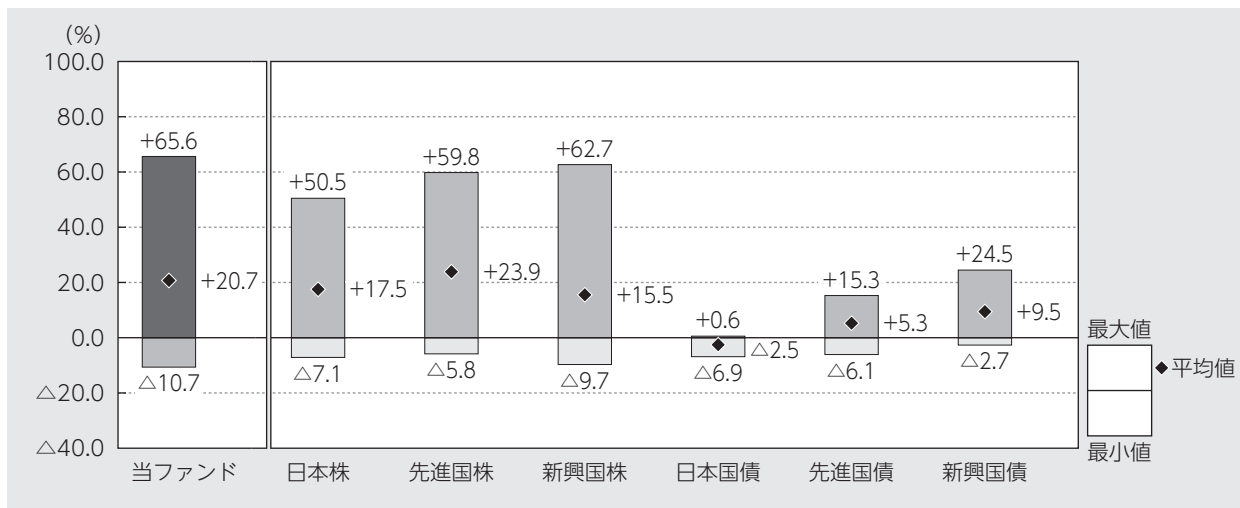
●ジャパン・セレクション・マザーファンド

今後の国内株式市場は、地政学リスク等による世界経済や企業業績への影響、生成AI関連投資の動向、日米の金融政策などは注視するものの、デフレ経済からの脱却、日本企業の資本コストや株価を意識した経営変革といった中長期的なサポート要因は不変であり、株式市場を下支えするとみています。引き続き、物色動向の変化に対応しながら、競争力や成長性といったファンダメンタルズと株価バリュエーションに基づく銘柄選別をより一層重要視する方針です。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|-------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 2001年11月1日から無期限です。 | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | D I A Mジャパン・ セレクション<DC年金> | ジャパン・セレクション・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | ジャパン・セレクション・ マザーファンド | わが国の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向によっては株価指数先物取引やオプション取引の利用を含め、株式比率を低下させることがあります。 マザーファンドにおいては、国内の全上場銘柄を投資対象とし、アクティブ運用を行います。M&A、自社株買い、リストラ等により収益力の向上やEPSの増加が期待できる成長株を中心に、銘柄数を絞り込んで投資します。企業評価では主として収益力や技術力といった成長力に着目すると共に、バリュー面からのチェックも行います。 | |
| 分配方針 | 年2回の決算時（原則として3月、9月の各17日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準を考慮した上で、配当等収益および売買益等の範囲内で分配する方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。 | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年3月～2026年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したもものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年3月17日現在）

◆組入ファンド等

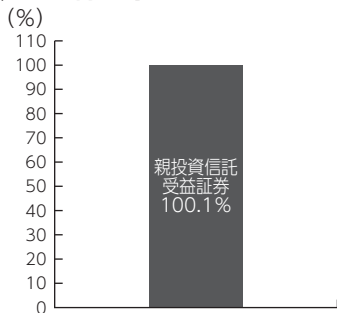
（組入ファンド数：1ファンド）

| | 当期末 |
|---------------------|------------|
| | 2026年3月17日 |
| ジャパン・セレクション・マザーファンド | 100.1% |
| その他 | △0.1 |

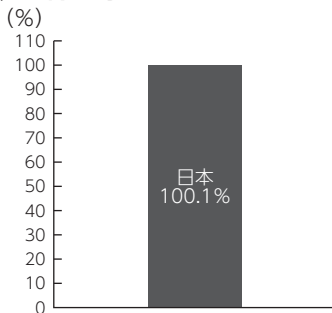
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

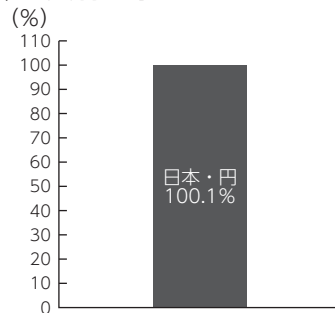
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

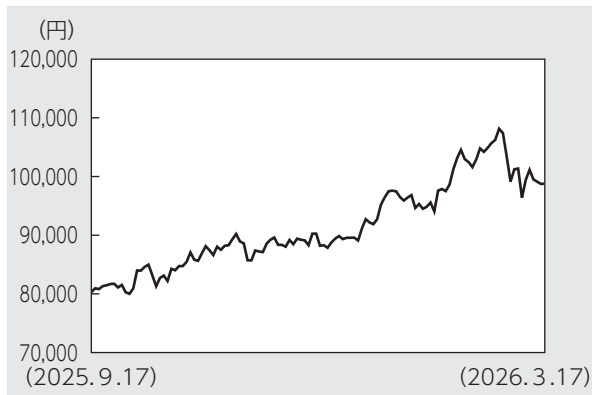
| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2026年3月17日 |
| 純資産総額 | 6,033,234,579円 |
| 受益権総口数 | 887,078,590口 |
| 1万口当たり基準価額 | 68,012円 |

（注）当期中における追加設定元本額は140,268,866円、同解約元本額は107,511,002円です。

組入ファンドの概要

【ジャパン・セレクション・マザーファンド】（計算期間 2025年9月18日～2026年3月17日）

◆基準価額の推移



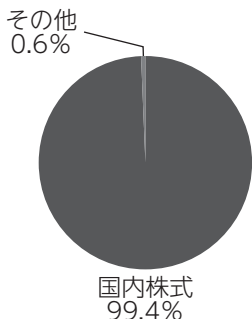
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------|------|------|
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 日本・円 | 4.5% |
| キオクシアホールディングス | 日本・円 | 4.2 |
| 三井物産 | 日本・円 | 3.9 |
| ソニーグループ | 日本・円 | 3.7 |
| トヨタ自動車 | 日本・円 | 3.5 |
| 三井住友フィナンシャルグループ | 日本・円 | 2.9 |
| 横浜ゴム | 日本・円 | 2.8 |
| 三菱重工業 | 日本・円 | 2.6 |
| 東京海上ホールディングス | 日本・円 | 2.5 |
| 日立製作所 | 日本・円 | 2.5 |
| 組入銘柄数 | 81銘柄 | |

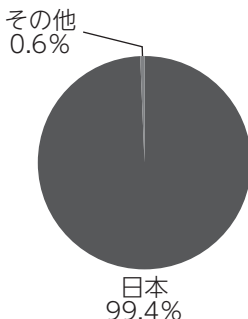
◆1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | |
|----------------------|-------------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 27円 (27) | 0.029% (0.029) |
| 合計 | 27 | 0.029 |
| 期中の平均基準価額は91,513円です。 | | |

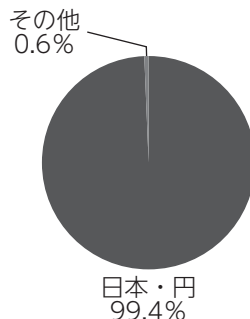
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGB-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。